

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要	・学力向上については、国語科の研究を中心に研究授業やその後の授業研究会、また、日常的な三文作りや読書指導を行い、一定の効果を上げることができた。 ・いじめ問題への対応では、アンケート調査や個人面談などで早期発見、早期対応に努めることができた。また、特技集会などの新たな取組により、児童の自尊感情を高めることができた。元気な挨拶や返事については課題が見られるため、具体的な方策を検討していく必要がある。
------------------	---

2 学校教育目標	は：励んで光る た：愉しんで光る つ：つながって光る
----------	----------------------------------

3 本年度の重点目標	行動目標「3つの玉みがき」に取り組むことで、たくましく未来を切り拓く児童を育成する。
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践 ○算数科を中心とした確かな学力の定着	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上 ○既習内容を基に、自力解決を目指す児童80%以上	・朝の時間や家庭学習を中心に三文作りに取り組む。 ・ノーマディア・家読週間を設定する。 ・校内研において「学習習慣の確立」「授業展開の確立」を中心におき、取組の促進を図る。 ・低中高グループで、算数科の全体授業研を行う。 ・スキルタイムを活用し、基礎基本の定着を図る。			
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 ◎めあてをもって学習活動や学校行事等に取り組む児童の育成	○あいさつ自己チェックによる進んで挨拶ができる児童90%以上、生活アンケートによる相手の思いや言葉遣いができる児童90%以上 ○保護者アンケートの「いじめに対する学校の取組」の評価を85ポイント以上 ○行事等では自分のめあてをもって取り組むと回答する児童90%以上	・子どもを中心とした「あいさつ自己チェック」を実施する。 ・自己肯定感を高める取組(特技集会)を行う。 ・心のアンケートと個別の面談を定期的に行い、早期発見に努める。 ・職員連絡会で気にしたい子の報告をして共通理解を図って対応する。 ・キャリアパスポート等を活用し学習や行事にめあてを決めて取り組ませ、達成に向けて努力するよう声を掛ける。 ・振り返りをさせ、全校放送や学級通信などで紹介する。							生活部 特活部 教頭 生活部 特活部 各担当 各担任
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成 ○目標をもって体力づくりに取り組む教育活動	●「健康に食事は大切である」と考える児童100% ○天気の良い日には外遊びをしたり一輪車の練習をしたりするなど、進んで運動ができる児童90%	・「健康に食事は大切である」と児童が認識するような取組を委員会で行う。 ・給食試食会や健康教育の授業を行い、保護者も巻き込んだ取組を行う。 ・栄養教諭と担任が連携して、食育の授業を行う。 ・体育委員会主催で、スポーツ・レクリエーションを行う。 ・健康タイムで一輪車の練習をしたり縄跳びをしたりして、児童の運動への意欲を高める。 ・昼休みに一輪車の遊具を出したり、一輪車カードを作成したりして、楽しく遊べるようにする。							保体部 食育指導担当 保体部 体育主任
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。	・業務記録票を基に勤務時間の管理を行い、業務支援が必要な職員に対しては級外等による支援を行う。 ・定時退勤日の実質的な実践をする。 ・行事等の内容・方法の精選を行う。							管理職

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○開かれた学校	○地域人材を活用した教育活動の推進	○校区の「人・もの・こと」に愛着をもち、大切にしていきたいと感じる児童90%以上	・年間カリキュラムを見直し、地域と連携した効果的な教育活動を計画しする。 ・町の協力を得て地域人材のリストを作成し、職員間の情報共有を図る。また、地域素材の発掘にも力を入れる。			

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------